

平成 21 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2009-B-01

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文: グローバル地震学

英文: Global Seismology

4. 研究代表者所属・氏名 京都大学大学院理学研究科・中西一郎

(地震研究所担当教員名) 綿田辰吾

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給
今西 祐一	東京大学海洋研究所・助教	気象庁精密地震観測室	11月12日-13日	2	有
高波 鐵夫	札幌学院大学・客員教授	北大・屈斜路湖観測点	11月5日-8日	4	有
高波 鐵夫	札幌学院大学・客員教授	北大・浦河地震観測所	11月9日-12日	4	有
中西 一郎	京都大学理学研究科・教授	神戸大学理学研究科	3月26日	1	有

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード:

歪地震計観測, 超広帯域地震計試作機, 3次元不均質地球波動伝播

- 歪地震計観測. 北海道大学地震観測網の広帯域地震計(歪計・地震計)のグローバル地震観測用機器の保守およびデータ回収を行った.
- 超広帯域地震計試作機. 平成21年度内に京都大学・上宝地震観測所に試作機の設置を目指したが, データローガー購入に必要な資金集めに時間がかかり, また観測点周辺の積雪のため, 年度内の設置は出来なかった. 試作機・データローガーを3月中に上宝地震観測所に搬入した. 雪解けを待って5月中に設置し, 既設のSTS-1地震計との比較観測を行う予定である.
- 日本地震学会 2009年度秋季大会に於いて, 特別セッション「次世代の理論地震学と地球内部構造研究」を企画・開催した. 本特定共同研究(B)の分担者による3次元不均質地球での地震波動伝播に関する理論的研究成果が発表された.

7. 研究実績報告 (公表された成果のリスト*1または2000~3000字の報告書)

(*1論文タイトル, 雑誌・学会・セミナー等の名称, 謝辞への記載の有無, ポイント数, 電子ファイル添付のこと)